

福山市立 蔵王小学校 学校通信	<h1 style="font-size: 48px; margin: 0;">蔵王山</h1>	2011（平成23）年 7月11日発行 No. 5
-----------------------	--	---------------------------------

## 夏休みまであと2週間になりました！！

暑い毎日ですが、子どもたちは元気に1学期のまとめをしています。暑いのでこまめに水分補給をするために水筒を2つ持ってきている児童もいます。健康管理を自分でしていることが伺えます。保護者の皆様のご協力、ありがとうございます。

熱中症事故予防のために学校では次のことに気をつけています。

- 1 気象状況の把握と状況による運動の中止
- 2 丁寧な健康観察の実施
- 3 こまめな水分補給（塩分補給）      <参考>平成22年度の学校管理下における熱中症事故の発生状況 小学校411件 中学校2033件
- 4 適度な休憩など

## こんな子が育っています！！

先日、校長室から廊下の掃除をしていた時のことです。私が、ほうきで掃きかけたと思ったら、近くにあったちりとりをさっと差し出してくれた5年生がいました。たまたまそこを通りかかっただけなのですが、掃いて集めたごみは、ちりとりで取ることをすぐに思いついたのですね。「ありがとう！」と言ってごみを捨ててもらいました。この何気ない気づきの行動が私の心をとても温かくしてくれました。

しばらくして、「掃除5分前です。早く掃除場所に行ってそうじをしましょう。」という放送が流れました。すると、廊下を歩いていた3年生の女子が、「はい。」と言って早足で掃除場所の方へ行きました。放送に返事は必要ないのですが、よく聞いて素直に反応している姿が微笑ましくて思わず振り返ってしまいました。子どもたちのこの素直な心がそのまま成長するよう、私たちもしっかりしなければいけないと心を新たにさせられた一瞬でした。

## 児童会引き継ぎ式終わる！

前期児童会の役員のみなさん、ご苦労様でした。

会長 土井しょうご君 副会長 村上ゆいさん

執行委員 高橋りん君 内山あおいさん

副会長 藤井だいち君 藤井すみれさん

矢山わかなさん 羽原けい君ご苦労様！

新しい児童会役員のみなさん、前期の人からしっかり引き継いでがんばってください。新しい役員の人たちが公約として掲げたことの中には、元気のよいあいさつができる学校、掃除を本気でする人の多い学校、みんなとなかよくできる学校にしたいという内容がおおかったです。

期待しています。



## 親思う心にまさる親心，今日のおとずれ何と聞くらん

これは，明治維新の志士，吉田松陰の辞世の句です。子どもが親を思う心よりも，親が子どもを思う心のほうがより深く大きいということを意味しています。

芥川龍之介の少年文学「杜子春」があります。それは，中国の伝記「杜子春伝」にもとづき，童話化したものです。仙術によって，地獄に落ちた杜子春が，地獄で死んだ母親に会い，その母親のふかい愛情にふれ，心を改めて，まじめな人生を再出発するという物語です。

これを本日，「民話 芸術座」の方たちによる演劇として鑑賞しました。迫力のあるすばらしい演劇でした。廊下ですれちがった子どもたちが，「感動したよ。」「涙が出そうだったよ。」などと話しているのが聞こえてきました。地獄の責め苦にあっても，我が身のことより，我が子のことを考える深い親の愛。

吉田松陰の「親思う心にまさる親心，今日のおとずれ何と聞くらん」が思い出されました。

演劇の第一部は，6年生児童による朗読劇でした。また，演劇の中には，6年生児童もゲスト出演させていただきました。児童の演技もなかなかすばらしかったです。



## 夏休みまで残すところ10日ほどになりました！！

保護者・地域のみな様に見守られながら，けがや事故無く1学期を終えることができそうです。ご理解ご協力いただきまして，本当にありがとうございました。今年の夏は，市内において児童の交通事故が続き，緊張感が走りました。この夏も事故やけがのないよう十分注意しながら充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。人生には，3つの坂があるそうです。「上り坂」「下り坂」そして，もうひとつは，「まさか」です。まさかこんなことが・・・ということのないよう，お互い一日一日を大切にしていきましょう。どうぞ，楽しく思い出多い夏休みにしてください。

夏休みは，自立する子どもを育てる絶好の機会でもあります。自立の子育てとは，自分のできることを自分の力で解決しようとする子どもを育てることです。成長段階に応じて子どもは，自分の力で新たな課題に挑戦しようとするものです。うまくいけば自信がつきもっと難しい課題へ迫ろうと気力を高める。うまくいかない時は「なぜか」と考え，やり直す。その繰り返して課題が解決され，「できた」という満足感を味わい，更に，次の課題へと立ち向かって行くのです。こういうプロセスを大切にしたい夏休みにしてあげてください。

## たくさんの野菜をいただきました。

明るいまちづくり委員長さんから，たくさんの南京を，二川さんのおじいちゃんからたくさんのじゃがいもをいただきました。給食のメニュー「みそ汁」「掻き揚げ」「えびチリソース」などでいただきました。これから，「ポテトチップス」にもしていただきます。おいしくいただきました。ありがとうございました。また，蔵王農園の草とり，南京・落花生・さつまいも・じゃがいもなどの世話，稲作り，柿作りなどなど本当に多くの方の支えで豊かな体験をすることができました。心よりお礼申し上げます。